

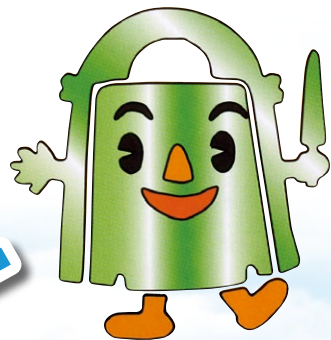
わかりやすい!  
島根県の埋蔵文化財情報が満載!

ドキ土器

No.66

2020.03

# まいぶん



まいぶんくん

島根県の埋蔵文化財情報誌



史跡出雲国府跡調査区全景 (南東から)

し せ き い ず も こ く ふ あ と

## ① 史跡出雲国府跡(松江市大草町)

### 政庁域で東脇殿を新たに発見

出雲国府跡の実態を解明するために平成11年度から発掘調査を行っています。今年度は政庁正殿の南東から南側を6月から12月にかけて発掘調査しました。今回の調査では、政庁正殿の南東に南北に並ぶ2棟の建物を新たに確認しました。

これらの建物は2回の建て替えが行われ、最終的には掘立柱建物から礎石建物へと建て替えられたことが分かりました。これらの建物は正殿に対して南北に長い建物であることから、東脇殿と考えられます。

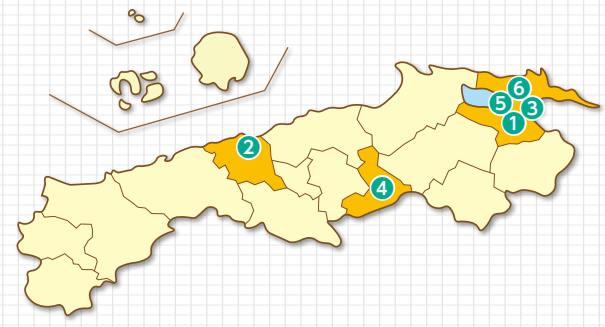
これらの建物のほかに、政庁正殿の南側では石敷き遺構を確認しました。この石敷きは儀礼空間である正殿の前庭を石で飾ったものと考えられます。今回の調査では、不明な点が多かった政庁域の建物配置や建物の変遷などを考える上で重要な発見となりました。



# 島根県の最新発掘情報

## 令和元年度

# 発掘調査ガイド



|        |           |         |      |      |      |      |       |       |       |        |       |     |
|--------|-----------|---------|------|------|------|------|-------|-------|-------|--------|-------|-----|
| 数十万年前～ | 約12000年前～ | 紀元前5世紀～ | 3世紀～ | 7世紀～ | 710～ | 794～ | 1185～ | 1338～ | 1573～ | 1603～  | 1868～ |     |
| 旧石器時代  | 縄文時代      | 弥生時代    | 古墳時代 | 飛鳥時代 | 奈良時代 | 平安時代 | 鎌倉時代  | 南北朝時代 | 室町時代  | 安土桃山時代 | 江戸時代  | 近現代 |
|        | ②         |         | ④ ③  |      | ①    |      |       |       | ⑥ ⑤   |        |       |     |

●発掘調査中の遺跡には、深い穴や急傾斜地など危険な場所があります。事故などのおそれがありますので、くれぐれも無断で立ち入ることがないようにお願いします。  
 ■掲載した遺跡についての問い合わせ：島根県教育庁埋蔵文化財調査センター TEL 0852-36-8608

## 江の川の自然堤防上で多様な遺構・遺物を発見

### もりばらしものほらいせき

## ② 森原下ノ原遺跡 (江津市松川町)

江の川の河川改修事業に伴って発掘調査を行い、縄文時代前期から江戸時代前期にかけての遺構約400基、遺物約150箱を発見しました。その中には、弥生時代前期のガラス玉や朝鮮半島で製作された管玉、後漢(中国)で製作された青銅鏡、山陰初の古墳時代の絵画土器など、貴重な遺物も確認されました。

また、弥生時代前期の石斧製作や、室町時代の鍛冶工房跡、江戸時代の畑跡など、生産に関わる遺構・遺物も確認されました。このように、今回の発掘調査では、江の川沿岸の暮らしの変遷が分かる大きな成果がありました。



弥生土器・石斧未成品・石材出土状況



後漢で製作された青銅鏡の破片



絵画土器の出土状況

### やましろほらこふん

## ③ 山代原古墳 (松江市山代町)

## 出雲東部最後の最高首長墓を発掘

山代原古墳は、古墳時代後期に出雲東部の最高首長の墓域であったと考えられている大庭・山代古墳群のうちの一基です。石室は古くから開口しており、県内最大の石棺式石室を持ちます。令和元年度11月から12月の発掘調査により、これまで不明とされていた墳丘の形・規模についての情報を得ることができ、墳丘規模23m前後の方墳である可能性が高まりました。来年度も引き続き発掘調査を行います。



石棺式石室の入口



見つかった周溝

## ④ 猪子原遺跡(飯石郡飯南町)

高原の地域首長墳を発掘

遺跡は神戸川上流に位置する来島ダム周辺の標高約460mの丘陵尾根上に位置します。遺跡からは周囲の平野が一望できます。調査の結果、古墳時代中期後半の方墳であることが明らかとなりました。また、墳丘中央で墓壇を1基検出しました。埋葬施設に組合式木棺が採用されており、棺内からは副葬品として鉄斧が出土しています。今回の調査は、様相が不明瞭な地域である神戸川上流域における古墳時代の地域代表者が葬られるお墓の様子を知る上で貴重な成果といえます。



丘陵尾根上に築造された地域代表者のお墓



墳丘中央で検出された墓壇(墓穴)

## 室町時代の屋敷地を調査

## ⑤ 下黒田Ⅱ遺跡(松江市大庭町)

下黒田Ⅱ遺跡は松江市大庭町に位置します。国道432号バイパス建設に先立ち、令和元年6月から9月まで調査しました。調査の結果、室町時代の溝が見つかりました。溝はほぼ南北方向ののび、幅2.2~2.5m、深さ約0.4mです。溝の途中には幅約1mの陸橋状に掘り残し部分がありました。この溝は、当時の屋敷の内外をつなぐ通路として使われたと考えられます。そのほか、江戸時代初めの土坑から陶器の皿2点が見つかりました。

下黒田Ⅱ遺跡の西隣の川原宮Ⅲ遺跡では、室町時代の区画溝や柱穴跡が見つっています。大庭地区にはこのほか黒田館跡や下黒田遺跡など中世の遺跡が多く見つかり、当時の様子を考えるうえで貴重な調査例となりました。



遺跡全景と茶白山



江戸時代初めの土坑

## ⑥ 若宮谷遺跡(松江市朝酌町)

中世の貝層を発見

この調査は国土交通省出雲河川事務所から委託を受け、昨年度に引き続き大橋川北岸矢田地区で調査を行いました。現況は水田、畑で小さな谷が大橋川に接続する場所です。東側の谷奥にはシジミを主体にサルボウを含む貝層(中世)が堆積し、シカの角、タイ、エイの骨が出土しています。丘陵斜面の中段の平坦面から竪穴建物5棟、古代の掘立柱建物1棟、中世の掘立柱建物1棟を検出しました。竪穴建物の周囲に「コ」の字状に溝が巡り、古墳時代前期の土師器・壺が出土しています。古代から中世にかけて集落が営まれていたことが確認されました。



若宮谷遺跡の全景



見つけた掘立柱建物跡

## 埋文センター講演会

### 石見の山城を考える ～土の城から石の城へ～



7月6日に、浜田市石見公民館にて山城をテーマにした講演会を開催しました。会場には、100名を超える山城・歴史ファンが集まり、気鋭の研究者たちの話を熱心に聴講されました。

## いにしえ倶楽部を開催しました！

### きみも卑弥呼の鏡を作ろう！ ～みがいて作る古代の鏡～



8月18日に、特殊な合金を使った小学生向けの鏡作りイベントを行いました。みんな夢中になって磨いたので、自分の顔が映るほどのピカピカの三角縁神獸鏡を作ることができました！

## パンフレット紹介

### 最新刊です！

シリーズしまねの遺跡では、埋文Cいちおしの遺跡を分かり易くまとめて紹介しています。今回は、平成29(2017)年に調査が行われた大田市『御堂谷遺跡』を取り上げ、周辺の遺跡と比較しながら、集落の変遷や機能について解説しています。パンフレットは、埋文Cで無料配布しているほか、県内の文化財関係施設にも置いてありますので、ぜひご覧ください。  
(問い合わせ先:0852-36-8608)

## シリーズしまねの遺跡発掘調査パンフレット9『御堂谷遺跡』



## まいぶん 出土遺物カード 13

### 西川津遺跡出土 黒曜石製石器



西川津遺跡出土の黒曜石製石器  
写真提供：島根県立古代出雲歴史博物館

黒曜石は、火山によって作り出された天然ガラスです。狩猟・採集の時代には、矢じりや槍、ナイフなどに用いられました。島根県では、隠岐が産地として有名です。松江市西川津遺跡では、縄文時代前期(約7,000年前)の土器と一緒に、大量の黒曜石が出土しました。これらは、すでに加工された状態で持ち込まれていて、西川津遺跡では細かな仕上げを中心とした作業が行われていたようです。このことから、西川津の縄文人と、隠岐の島の縄文人達の間にはるか日本海を越えた交流があったことがうかがえます。

## 島根県の埋蔵文化財情報誌

ドキ土器

# まいぶん

No.66 発行:令和2年3月

編集・発行  
島根県教育庁埋蔵文化財調査センター  
〒690-0131 松江市打出町33番地  
TEL:0852-36-8608 FAX:0852-36-8025  
E-mail:maibun@pref.shimane.lg.jp  
http://www.pref.shimane.lg.jp/maizobunkazai/

